

報道機関配付資料 安城市

件名 新正副議長などを選任し、臨時会が閉会

令和6年5月13日

令和6年5月13日（月）、安城市議会は、令和6年第3回安城市議会臨時会を開催し、正副議長の選挙を行い、議長には深津修議員（4期目・堀内町・59歳）を、副議長には白谷隆子議員（2期目・城南町・61歳）を選んだ。正副議長の経歴は別紙1のとおり。

常任委員及び議会運営委員の選任を行った後、本会議を休憩して各委員会を開催し、正副委員長の互選を行い、新しい安城市議会の体制が決まった。各委員会の構成などは別紙2のとおり。さらに、衣浦東部広域連合議会議員の選挙が行われた。

なお、市長提出議案7件及び議員が提出した決議案1件（別紙3）については、いずれも原案のとおり可決した。

問い合わせ 安城市役所議事課

電話（直通） 0566-71-2252



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

安城市議会議長略歴

ふかつ おさむ
深津 修

昭和40年4月（59歳）

住所 堀内町

略歴 自 平成23年5月1日市議会議員

至 現在 議員4期目

会派 安城創生会（議員定数28名の内、18名の会派）

平成23年5月 1日 市議会議員初当選

平成24年5月11日 防災対策強化特別副委員長

平成25年5月13日 建設常任委員長

平成27年5月11日 経済福祉常任委員長

平成28年5月11日 低炭素社会推進特別委員長

平成29年6月21日 シティプロモーション・交流人口拡大特別副委員長

平成30年5月11日 市民文教常任副委員長

令和 元年5月13日 総務企画常任委員長

令和 2年5月 1日 副議長

令和 3年5月11日 議会運営副委員長

令和 3年6月25日 自治体DX推進特別委員長

令和 3年9月 7日 決算特別副委員長

令和 5年5月11日 総務企画常任委員長

安城市議会副議長略歴

しらや たかこ
白谷 隆子

昭和37年10月（61歳）

住所 城南町

略歴 自 令和元年5月1日市議会議員

至 現在 議員2期目

会派 安城創生会（議員定数28名の内、18名の会派）

令和元年5月 1日 市議会議員初当選

令和3年5月11日 健康福祉常任副委員長

令和4年5月11日 産業建設常任委員長

令和5年5月11日 市民文教常任副委員長

令和5年6月28日 少子化対策特別委員長

安城市議会 正・副議長及び委員名簿

令和六年五月十三日

議長 深津 修
副議長 白谷 隆子

名称	正・副委員長	委員
総務企画	委員長 鈴木 浩 副委員長 大屋 明仁	竹内 稜人 沓名 美由起 森下 祥子 法福 洋子 神谷 清隆
健康福祉	委員長 沓名 喜代治 副委員長 宮崎 千春	石川 健一 白谷 隆子 松本 佳栄 白山 松美 今原 康德
市民文教	委員長 石川 いくこ 副委員長 伊藤 康伸	すば 康貴 守口 晶治 杉山 朗 松尾 学樹
産業建設	委員長 神谷 和明 副委員長 大見 学	野場 華世 田中 直樹 横田 雅史 宗 文代 石川 翼
議会運営	委員長 杉山 朗 副委員長 沓名 喜代治	石川 いくこ 守口 晶治 松本 佳栄 石川 翼 今原 康德 大屋 明仁
未来型スマートまちづくり	委員長 神谷 和明 副委員長 今原 康德	野場 華世 竹内 稜人 石川 健一 すば 康貴 沓名 美由起 伊藤 康伸 大見 学 石川 いくこ 守口 晶治
少子化対策	委員長 宗 文代 副委員長 石川 翼	田中 直樹 横田 雅史 宮崎 千春 森下 祥子 白谷 隆子 沓名 喜代治 松本 佳栄 法福 洋子 鈴木 浩

監査委員 法福 洋子

決議案第1号

イスラエルとパレスチナ自治区における早期の平和実現を求める決議
について

上記の決議案を発議する。

令和6年5月13日

安城市議会議員	鈴木	浩
〃	大屋	明仁
〃	松尾	学樹
〃	今原	康德
〃	石川	翼
〃	松本	佳栄
〃	白谷	隆子
〃	守口	晶治

—提案理由—

この案を提出したのは、イスラエルとパレスチナ自治区において、武力衝突により、尊い人命と尊厳が危機的な状況にさらされていることに鑑み、一日も早く人道的停戦が実現し、平和解決が図られるよう強く求めるため。

イスラエルとパレスチナ自治区における 早期の平和実現を求める決議

イスラエルとハマスを含むパレスチナ武装勢力との大規模衝突により、多くの民間人が危機的な状況にさらされ、市街地にも甚大な被害をもたらしている。

こうした状況の中、国連総会では、即時の人道的停戦や全ての人質の解放、人道支援の確保などを求める決議が採択されてきたところであるが、今なお民間人の犠牲者は後を絶たず、人道状況が深刻化している。

よって、安城市議会は、尊い人命と尊厳が危機的な状況にさらされていることに鑑み、一日も早く人道的停戦が実現し、平和的解決が図られるよう強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年5月13日

安 城 市 議 会